

ここが聞きたい!

いっぱん

内田雅人 議員

耐震化促進のため 改修補助金制度の拡充を

町長 利用が少ない現状もあり拡充を検討する



問 4月の熊本地震は、耐震基準を満たさない住宅の倒壊が非常に多かった。奥出雲町でもできる限りの備えが必要だが、耐震化率は低い。

答 町独自の耐震化を促進する補強改修の補助金制度があり、耐震診断に限度額6万円の補助、設計に40万円の補助、そして実際の耐震改修に80万円の補助、という内容だ。利用は少ないので促進を図る必要がある。拡充の考えは、

答 指摘の通りで、まだ本人負担も多く利用が少ない現状だ。他市町村や国、県の動向を見ながら検討する。

問 耐震診断は100%補助

にしてもいいのではないか。また部分的な改修も補助対象にできないか。

答 今の制度は他の市町と遜色ないが、財源確保も考慮しながら検討する。

問 鳥根県全体として耐震化率は低い現状だが県にこの補助事業は無い。拡充を強く働きかけるべきだ。

答 他市町と連携しながら、自治体への助成制度を含め拡充の働きかけを行う。

問 拡充とともに、住民周知を図ることも合わせてやって頂きたい。

答 熊本地震で問題となったが、各地区にある指定避難所の耐震化は図られているか。

答 町内に31カ所あるうち三成中央公民館、町民体育館、三成小体育館、上阿井交流センター、ヴィラ船通山、横田コミセンの6施設で耐震性が未確認。あるいは不足している。他の施設に指定を変えるなどの対応を地域の

各自治体の耐震化率

奥出雲町	雲南市	松江市	出雲市	安来市
60%	57%	72%	72%	66%
飯南町	川本町	日南町	熊本県	全国平均
44%	60%	66%	76%	82%

(国土交通省調査・23年末時点)

皆様と議論する必要がある。

問 その6施設は早急に対応してもらいたい。

答 先月たたらが日本遺産に認定されたことは、大変喜ばしいことだ。さらに世界遺産に向けての積極的な取り組みの表明があった。調べてみたが、ユネスコの基準にたたらは充分に当てはまる。超えていくハードルは高いが、その実現に向けてのビジョンと課題は、

答 まず推薦予定の暫定リスト入りが必要だ。たたららの、世界に誇れる顕著な普遍的価値を証明しなければならぬ。関係団体と大きく連携して調査、研究をしていく。

問 たたら製鉄は石見銀山と同じく、まさに自然と人間の共生だ。堂々と積極的に進めて欲しい。本物のたたらのはが上がるこの奥出雲町で、たたらを見る、聞くだけでなく、体験できるオプションがあれば大きな魅力となるが。

答 日本遺産となったことを契機に、たたら体験事業の本年度実施を計画、検討している。

問 砂鉄を使った刃物作り体験も検討中か。

答 先月、公金の不透明金が発表されたがチェック体制が不十分だったと言わざるをえない。抑止力を発揮するシステムが必要だ。クロスチェックや3年以内の配置転換など、具体的な改善点は、

答 出納事務処理を見直し、チェック体制、機能を発揮して対応する。早めの配置転換についてはスペシャリストも必要なおことあり、総合的に判断していく。